

第5学年 算 数

第5学年の学習到達目標

- (1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。
- (3) 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。

第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	整数と小数	<ul style="list-style-type: none"> ●十進数としての特徴を理解する。 ●位取りの仕組みを計算などに用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○十進数としての整数, 小数 ○10倍, 100倍, $1/10$, $1/100$にした数の表し方
	直方体や立方体の体積	<ul style="list-style-type: none"> ●立体の体積について, 単位と測定の意味を理解し, 計算でもとめることができる。 ●体積についての量感を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体積の意味 ○体積の単位と相互関係 ○直方体・立方体の体積の求め方
	小数のかけ算	<ul style="list-style-type: none"> ●\times (小数)の計算の意味や仕方を考え, 計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○\times (小数)の意味の理解と計算 ○小数倍を用いた計算
	小数のわり算	<ul style="list-style-type: none"> ●\div (小数)の計算の意味や仕方を考え, 計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○\div (小数)の意味の理解と計算 ○小数倍とわり算
	合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> ●図形の合同の意味や性質を理解する。 ●合同な図形をかくことを通して, 平面図形についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合同な図形の意味の理解と作図 ○合同な三角形・四角形の決定条件
	偶数と奇数, 倍数と約数	<ul style="list-style-type: none"> ●偶数・奇数, 倍数・約数を理解する。 ●整数の性質の理解を深め, その見方や数の感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○偶数・奇数の意味とその類別 ○倍数, (最小)公倍数の意味と見つけ方 ○約数, (最大)公約数の意味と見つけ方
	単位量あたりの大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ●平均の意味を理解し, 用いることができる。 ●2量を比べることの意味や比べ方, 表し方を理解し, 用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平均の意味と求め方 ○単位量あたりの大きさ ○人口密度の意味と求め方
	分数と小数	<ul style="list-style-type: none"> ●分数の見方や表し方を理解する。 ●分数と小数, 整数の関係について理解し, 分数の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○整数のわり算の商を分数で表す ○分数の意味の拡張(分数倍)
	図形の角	<ul style="list-style-type: none"> ●三角形の内角の和が180度を理解する。 ●三角形の内角の和をもとに, 多角形の内角の和の調べ方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の内角の和は180度 ○多角形の内角の和の考察

後期	分数のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ●約分・通分の意味と求め方を理解する。 ●異分母分数のたし算, ひき算を計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○約分の意味とその方法 ○通分の意味とその方法 ○異分母分数のたし算, ひき算
	四角形と三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ●平行四辺形や三角形などの面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行四辺形の面積の求め方 ○三角形の面積の求め方 ○台形やひし形の面積の求め方
	百分率とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ●割合や百分率の意味について理解する。 ●目的に応じて, 帯グラフ, 円グラフに表したり読んだりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○割合の意味とその求め方 ○百分率の意味とその表し方 ○帯グラフ, 円グラフの読み方, かき方
	正多角形と円周の長さ	<ul style="list-style-type: none"> ●平均とちらばりの意味を理解する。 ●柱状グラフは, ちらばりの様子を見るのに便利であることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正多角形概念, 特徴, 性質 ○円周率の意味 ○円の直径の長さと円周の長さの関係
	分数のかけ算とわり算	<ul style="list-style-type: none"> ●(分数)×(整数), (分数)÷(整数)の意味を理解し, 計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(分数)×(整数)の意味と計算のしかた ○(分数)÷(整数)の意味と計算のしかた
	角柱と円柱	<ul style="list-style-type: none"> ●角柱や円柱について, 定義や名称, 構成要素を知り, その数や位置関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○角柱概念, 特徴, 性質 ○円柱概念, 特徴, 性質
	5年の復習	<ul style="list-style-type: none"> ●既習した主な内容について, 確実に理解し, 的確に能率よく用いることができる。 	○5学年の学習内容の総復習

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【算数への関心・意欲・態度】 数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり, 論理的に考えたりすることのよさに気づき, 進んで活用しようとしている。</p> <p>【数学的な考え方】 算数的活動を通して, 数学的な考え方の基礎を身につけ, 論理的に考えたり, 発展的・総合的に考えたりする。</p> <p>【数量や図形についての技能】 小数や分数の計算が確実にできること, 図形の面積や体積を求めたり, 性質を調べたりすること, 数量の関係などを表したり調べたりすることができる。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 小数や分数の計算の意味, 面積や体積の求め方, 基本的な図形概念や性質, 数量関係を理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 知識・理解・技能だけでなく, 児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点も大切にしていきます。</p> <p>② ペーパーテストだけでなく, 日常の学習の様子, 発表, 課題への取り組み状況, ノートなど, 様々な方法により多面的に評価します。</p> <p>③ 学習途中に現れる児童の思いや願いやその都度評価し, 指導に生かします。</p> <p>④ 児童自らが, 自分自身の学習の仕方や理解の程度などを, 自己評価や相互評価したものも参考にします。</p>
---	--

特色ある学習方法

(1) 基礎・基本の定着

- ① 前学年までの内容も継続して指導し、理解と定着を図るようにします。
- ② 計算や測定などの基礎的スキルについては、その習熟や維持を図るため反復練習をします。

(2) 算数的活動を積極的に取り入れる。

数量や図形についての意味を理解し、論理的な思考力や直感力、問題解決能力を育てるために、生活との関連を考慮しながら、作業的・体験的活動ができる場面を設定するよう工夫します。また、ゲームなどの要素を取り入れ、楽しく練習ができるような場を設定していきます。

(3) 学習形態の工夫

一人一人の学習状況を把握し、きめ細かい指導をしたり、自分に合った課題を選択して学習に取り組んだりできるよう、少人数指導やチームティーチングによる指導も取り入れます。

使用教材等

○ 教科書「新しい算数 5年」(東京書籍)

○ 計算ドリル

留意事項

(1) ノートについて

ノートは、自分が何を考え、どうやって解決に行き着いたのか記録する大切なものです。工夫したノート作りに取り組みます。

(2) 家庭学習・用具の準備を大切に

毎時間の復習は、確かな理解につながります。学習した内容の定着を図るため、計算ドリルやプリントなどの課題を出します。自分の間違いに気づき、その原因を明らかにした上で確実に直していくなど、間違いから学ぶ姿勢も大切です。また、ものさし、三角定規、分度器、コンパスなどの用具をきちんと用意し、必要なときはいつでも使えるようにしておくことが必要です。

(3) 興味・関心を高めるために

算数で学習したことが、生活の中で直面した問題の解決に生かされることにより、算数のよさを実感することができます。見積もりや割合など、日常の事象を数理的にとらえたり、身近な事柄の中に含まれる数・量・図形等の要素や数学的な考えに着目したりできるよう、ご協力をお願いします。